

パブコメ集計結果(内閣府 沖縄科学技術大学院大学の開学準備)

1. 総数: 7件

2. 賛否について:

○賛成: 3件

○賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの: 2件

○反対: 2件

計 7件

(賛否の考え方)

- ・主旨に賛成の文意を含むものは全て賛成に判定。
- ・「賛成だが施策の改善見直しの意見のあるもの」は基本的には賛成だが、施策の実施にあたっての改善、見直し方策について記述されているものを集計。

(参考)

①賛成

- ・ 沖縄科学技術大学院大学の設置は沖縄の振興のためのみではなく、日本やアジアの科学技術をも牽引する拠点になりうる可能性を含んだ政策であり、優先させるべき重要な施策であると考えています。
- ・ 大学院大学は、「最重要政策課題」に直接結びつく施策ではないが、「重点的に推進すべき課題」の5つの項目全てに直接結びつくような施策であるため、最重要政策課題の施策と同様に、優先度の高い施策であると考えている。大学院大学は、日本はもとより世界の科学技術の発展に寄与するきわめて重要な施策の一つであり、その実現には十分な予算の配分等が必要であると考えている。
- ・ 開学準備期間での予算削減は避けるべき。

②賛成だが施策の改善見直しの意見を含むもの

- ・ 従来の準備体制の設立から時間もたっており、内外の経済情勢、各方面での制度の見直しが生まれている。その中で、設立の趣旨は残し大いに発展させながらも、推進体制、国際協調のありかた、研究テーマなどを抜本的に見直すべき。
- ・ 沖縄科学技術大学院大学の開学にあたっては、まず沖縄科学技術研究基盤整備機構への過剰な投資を見直してから始めてください。

③反対

- ・ 優先順位を下げるべきだと思います。なぜ沖縄に新たな大学院大学が必要なのか、という理由が明確でないからです。研究の国際的な研究拠点を目指すには立地が良くないと思います。
- ・ 即刻廃止すべき。これこそ典型的な箱物行政である。連携の取りにくい沖縄にこのような投資をすると、人的資源が分散され、ますます日本の科学技術が弱くなる。